

## 2022 天皇杯・皇后杯大阪府ラウンド「大会運営ガイドライン」

本ガイドラインは、標記予選会を開催するにおいて、新型コロナウイルス感染拡大予防のための留意していただきたい内容をまとめたものです。大会参加にあたり遵守していただきますようお願いいたします。

### ※1. 大会運営の原則

- 1) 参加者の密集・密接の回避とソーシャルディスタンス確保のため、入館人数を最小限に止める。
- 2) 不特定多数の人々の接触回避や食事の場面を減らすため、体育館内の滞在時間を短時間にする。

### ※2. 大会運営のルール

#### (1) 大会参加者への対応

①大会参加者に対する事前のPCR検査は、実施しません。

各チームの責任のもと、参加者の体調管理をしっかりと行って参加してください。

②本大会は「無観客」での開催としますが、チーム関係者の入館は認めます。

③チームの入館人数は、選手は大会参加申込されたメンバー（チームにより異なるが最大で18名まで）のみ、スタッフは最大3名まで、チーム関係者は最大20名までに制限します。

④すべての参加者は、受付時に体調等が記載された健康チェックシート（別紙）を提出し、書面で健康状況をチェックします。

⑤すべての参加者に対し、入館時（受付後の入館前）に検温を実施します。

⑥試合終了後、ミーティング等により滞在時間が長くなることのないよう、速やかな退館に協力してください。

⑦参加者が以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる。

➢試合当日、体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

➢同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

➢PCR検査等を受け検査結果が出ていない場合

➢新型コロナウイルス感染者あるいは濃厚接触者であり、試合当日も静養期間中である場合

➢過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

⑧感染拡大防止のための以下の措置をとること。

➢マスクを持参し、着用を徹底すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をしている際にはマスクを着用すること）。

➢こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

➢他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。

（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）

➢大きな声で会話、アップゾーンからの応援等をしないこと。

➢感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。

➢大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、各チームの責任のもとで保健所との対応・連携を行い、主催者に対して速やかに状況を報告してください。

（報告先：大阪府バレーボール協会 Tel 06-6632-8668 Fax 06-6632-0226）

#### (2) 競技（試合）運営上の感染防止対策

①試合は、ワンボールシステムで行います。

②全試合とも3セットマッチとする。また、コートチェンジは実施する。

③主審と副審と記録以外（点示、ラインジャッジ）については、参加チームで協力してください。

④ベンチの椅子は監督、コーチ、マネージャーの3脚のみで、間隔を1mとします。

- ⑤ウォームアップエリアは、ベンチ横から密にならないように広く使用してください。
- ⑥ベンチの選手及びチームスタッフは、ベンチ内及びウォームアップエリアではマスクを着用してください。また、コート内の選手がマスクを着用しても問題ありません。
- ⑦試合終了後は、備え付けのアルコールとペーパータオルを使って、自チームベンチの消毒作業にご協力ください。
- ⑧試合会場の換気は、試合間は必ず、できればセット間も行います。

### (3) 当日のスケジュール

- 9 : 1 5 第 1 試合のチームのみ受付 (男子 4 チーム、女子 2 チーム)
- 9 : 3 0 第 2 試合のチームの受付 (男子 2 チーム、女子 4 チーム)
- 9 : 4 5 第 3 試合のチームの受付 (男子 2 チーム、女子 2 チーム)
- 9 : 5 0 代表者会議
- 9 : 5 0 第 2 試合のチームによる合同練習 (パス・対人のみ)
- 1 0 : 0 0 第 3 試合のチームによる合同練習 (パス・対人のみ)
- 1 0 : 1 0 第 1 試合のチームによる合同練習
- 1 0 : 3 0 第 1 試合開始 (ホイッスル)

注 1. 第 2 試合以降は、追い込み方式で実施します。

- 試合が連続しない場合、前の試合終了後、10 分間の合同練習を行い、プロトコールに入る。
- 試合が連続する場合、10 分間の休憩の後、10 分間の合同練習を行い、プロトコールに入る。

注 2. 受付実施要領

① 受付手順は、以下の通りとする。

「各チーム 1 列で整列」⇒「一人ずつ健康チェックシートを提出し、その場で検温を実施」

\*受付場所には 2 名配置 ○検温係 + ○健康チェックシートチェック係 (体温記入)

② 下記のチェックをお願いします。

- ☞ 検温時の体温が 36.9℃以下であれば入館可としますが、37.0℃以上の場合は再検温のうえ、37.4℃以下であれば入館可とします。37.5℃以上の場合は、入館不可とします。
- ☞ 健康チェックシートには、連絡先等の記入に加え、大会当日までの 14 日間の体温、問診欄への記入を必ず記入おこなってください。

注 3. チーム控え場所

- 入館後は、他のチーム関係者と交わらないように待機してください。
- ウォームアップコートは用意しておりませんので、ご了解ください。

### ※その他、感染症対策

- (1) 点示、ラインジャッジは、必ずマスクを着用する。
- (2) 記録席には、アルコール消毒液を設置し、手指消毒とボールの消毒を行う。  
なお、ボールの消毒は、タイムアウト時、セット間を利用して行う。
- (3) ベンチ用消毒セット (器具用アルコール消毒液、ペーパータオル、ゴミ袋など) を準備し、試合後の消毒に活用する。

\*感染症対策として、下記の器具等を準備・設置いたします。

アルコール消毒液 (手指消毒用、器具消毒用)、使い捨て手袋、フェイスガード、非接触型体温計、ペーパータオル、雑巾等